

マチごととエコタウン所沢

所沢市の環境政策

所沢市役所 環境政策課

【Vision】

“人と人”、“人と自然” との絆で、
子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢



再生可能エネルギーの利用推進

メガソーラー所沢



フロートソーラー所沢



市有施設屋根貸し事業



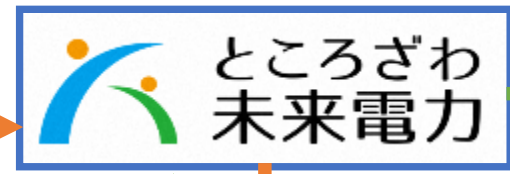
株式会社ところざわ未来電力 会社概要

会社名	株式会社ところざわ未来電力 Tokorozawa Future Electric Power Corporation
所在地	所沢市宮本町2丁目2番4号 (所沢市上下水道局庁舎内)
資本金	1千万円
株主	所沢市(51%)、JFEエンジニアリング株式会社(29%) 飯能信用金庫(10%)、所沢商工会議所(10%)
代表取締役	中村 俊明(所沢市副市長)
設立	2018年5月28日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・発電及び電気の供給に関する事業 [登録小売電気事業者 登録番号A0525]・エネルギー、他のインフラサービス及び地域課題解決に係るサービス等に関する事業・その他付帯又は関連する事業

再生可能エネルギーの地産地消

→ 電力
→ お金

- 市内廃棄物焼却施設
- 市内小中学校の屋根貸しソーラー (27施設)
- 市内民間企業ソーラー (3施設)
- 市内フロートソーラー
(● 市内メガソーラー
※令和3年度から未来電力に供給開始)
- 関東圏内廃棄物焼却施設



市民・市内事業者へ再エネ普及

STEP1:
公共施設 (高圧)
105施設 【17,771kW】
<約4,770 t CO₂削減>

STEP2:
民間事業者 (高圧)
19施設 【1,689kW】
<約290 t CO₂削減>

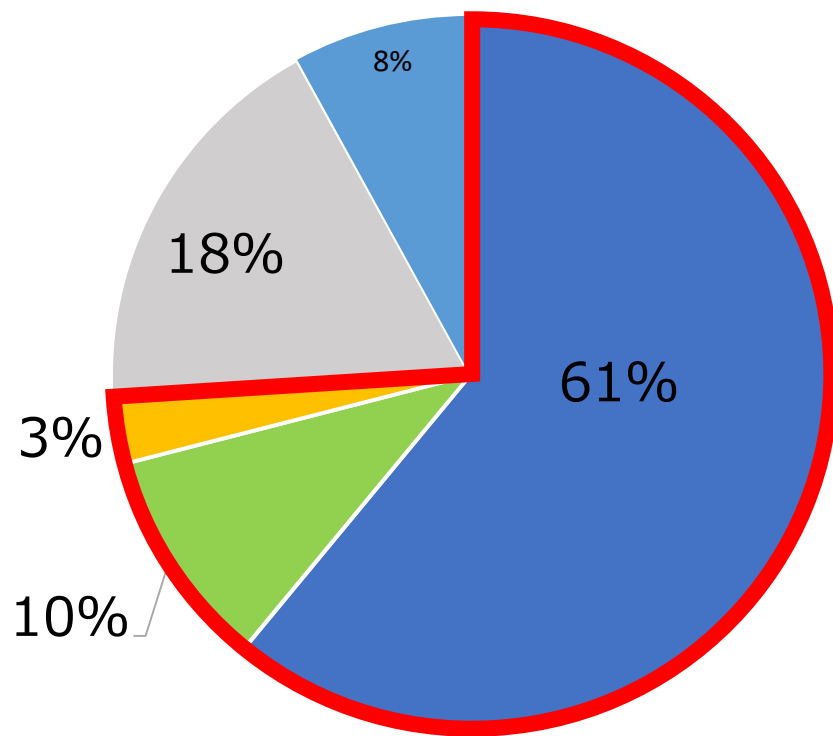
STEP3:
民間事業者・家庭 (低圧)
※R3,1月～供給開始予定



まちごとエコタウン推進基金へ

地域課題に対応した新たなサービスの提供 (今後)
市の施策と連携したサービスの提供

2019年度電源構成比率



地産率 74%

- 再エネ (県内バイオマス) ※1
- 再エネ (市内バイオマス) ※1
- 再エネ (市内太陽光)
- 再エネ (関東圏内バイオマス) ※2
- 卸電力取引所 ※3

- ※1 FIT電源・未利用エネルギーを含む
- ※2 未利用エネルギーを含む
- ※3 卸電力取引所から調達する電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

CO₂ 排出係数の比較

	 ところざわ 未来電力	大手電力会社
kg-CO ₂ /kWh	0.264	0.442

- 環境にやさしい電力の供給により、脱炭素化を促進
- 環境にやさしい電力を市域に広める
- 地産電源の使用により、地域経済活性化及び
地域循環共生圏を構築



© 所沢市

おうちの電気、見直しませんか？

ところんでんき 申込受付開始！

ところざわ未来電力は、2021年1月より埼玉県内で発電された再生可能エネルギー^{※1}を中心とした電力を個人（ご家庭・商店・事務所）のお客さまにも供給していきます。

—2020年10月受付開始、2021年1月より供給開始—



ゼロカーボンシティ

宣言

所沢市は、2050年までに
二酸化炭素排出量実質**ゼロ**を目指します

本市が目指す**エコタウン所沢**
そして、世界の共通目標である**SDGs**に大きく貢献します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



マチごとエコタウン
TOKOROZAWA

既存施策の強化

- 補助金制度等による創エネ・蓄エネ設備導入の強化
- ライフスタイルの転換に係る啓発事業



新たな取り組みの実施

- (株)ところざわ未来電力による低圧電力の供給開始
- 環境配慮事業者へのインセンティブ付与等による環境市場の拡大



ところざわ
未来電力



もう「**ところんでんき**」に、
したところん？

ところんでんきは、埼玉県で作られた再生可能エネルギー*を中心に、
ご家庭・低圧施設のお客様にも電力を供給しています。

マチ

エコ

ごと

タウン所沢

